

受注入力

受注入力では得意先の受注を入力します。

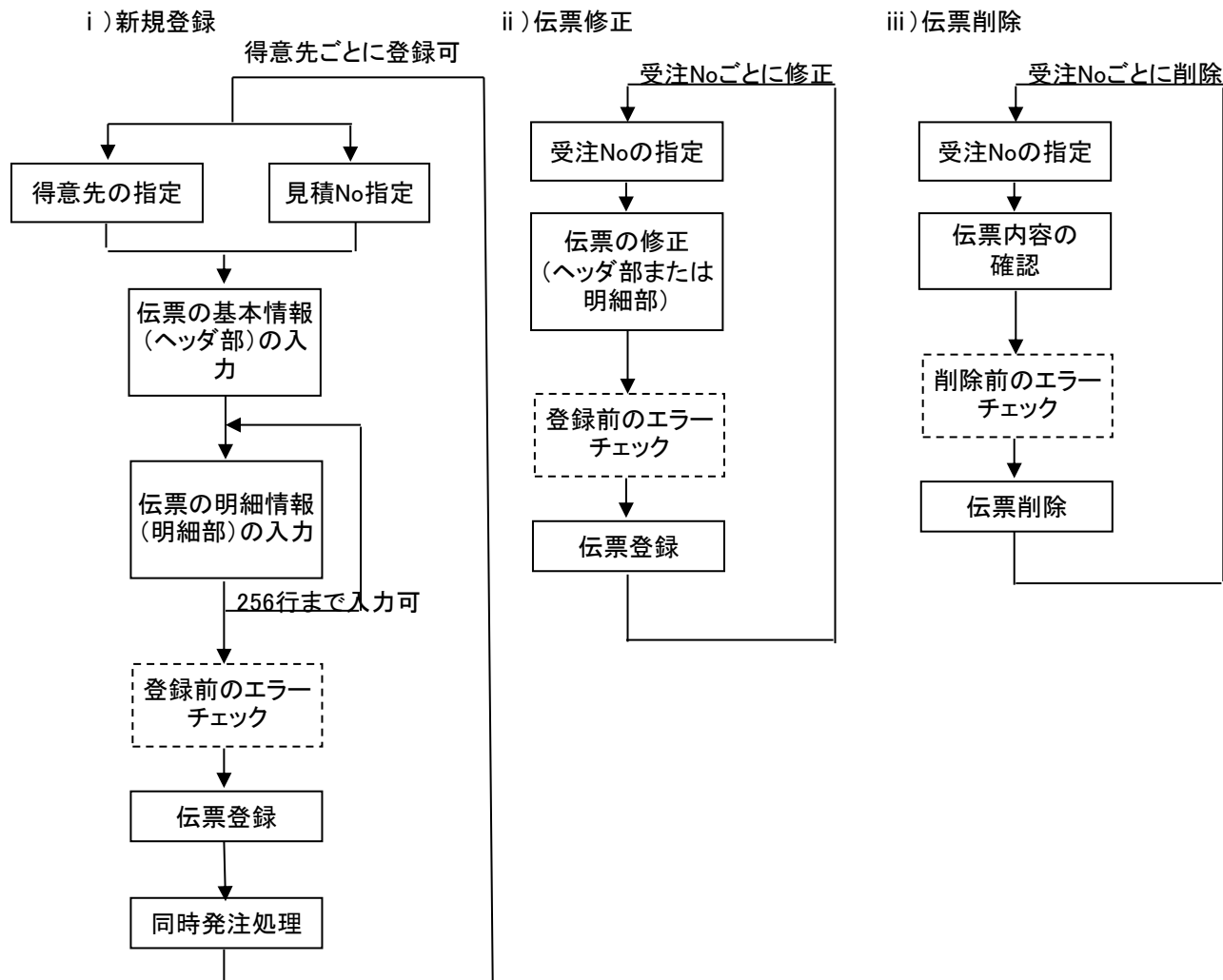
※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

1) 受注入力概要

Point

- ・受注入力することにより、以下の業務が可能となります。
 - ① 受注から売上へリレー入力することにより、分納も含め、受注残管理が行えるようになります。
 - ② 受注明細表が作成でき、多角度からの受注データ集計や分析ができます。
 - ③ 同時発注処理することで、同じ内容を発注伝票へ複写し、入力する工数を削減できます。
※ただし、同時発注する場合には、伝票機能の受注の設定にて「同時発注する」をONにする必要があります。
- ・見積Noを指定して受注伝票を作成することで、見積伝票の内容をリレーできます。
- ・何度でも同じ見積Noを指定して受注伝票を作成することができます。
既に受注リレー済みの明細行は削除チェックがONの状態初期表示されますので、必要に応じて、削除チェックを変更してください。

・受注入力の操作の流れ



※同時発注は新規の場合のみ。

※即時発行は伝票機能にて設定Onの場合のみ有効

2) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」のマニュアル参照してください。

項目名称	説明
受注No	受注伝票のNoです。 採番管理登録の設定によっては重複することもあります。
見積No	見積からのリレーで受注する場合、見積Noを指定します。
得意先	受注した得意先コードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) Point ・得意先名は、得意先マスタの登録内容が初期表示されます。表示後に訂正可能です。 ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定されている得意先は指定できません。
税処理区分	得意先マスタに設定している税処理区分(請求時外税/伝票毎外税など)が表示されます。
受注日	受注日(伝票日付)を入力します。 Point ・受注日には、運用設定で指定した受発入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。
納期	受注品の納期を入力します。納期は必須入力です。 Point ・伝票機能設定にて明細納期を使用する設定の場合、指定したヘッダ納期は明細行にコピーされます。コピー後、明細行ごとに変更も可能です。 実際の各商品納期は明細行ごとに判定されます。
担当者	営業担当者を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。 初期表示される担当者は得意先マスタの営業担当者(またはログイン担当者。運用設定で指定)です。 事業所名は担当者横に担当者の事業所が表示されます。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更されても伝票の事業所は変更されません。

項目名称	説明
納入先 コード 納入先名～ FAX	<p>納入先を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて納入先マスタ検索して選択可能です。 納入先名や住所などのその他項目は表示後に訂正可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入先名や住所はマスタから選択せず直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に納入先名や住所などを変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。マスタの内容は変更されません。 ・表示されている納入先コードを手入力で削除し、次項目へ進んだ場合、納入先情報を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると納入先名から納入先ご担当者名までがクリアされます。
ご担当者名	得意先のご担当者名を入力します。
地区	<p>地区を指定します。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意先マスタで地区を設定していると新規伝票入力時にその値が初期表示されます。
先方注文 No	得意先指定の注文Noを入力します。
件名	件名を入力します。
摘要 コード 摘要名1,2	<p>摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタから選択することができます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摘要コードを入力せずに摘要名1, 2に直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に摘要名1, 2を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。マスタの内容は変更されません。
メモ入力 (ボタン)	伝票ごとのメモを入力することができます。 ボタン押下にてメモ入力画面が開きます。
ファイル	伝票に関連するファイルを指定できます。参照ボタンからファイルを指定します。 表示されたファイルのパスをクリックするとファイルを表示できます。 ファイルのパスを削除したい場合はクリアボタンをクリックします。
現掛区分	入力中の伝票の現掛区分を指定します。 新規入力時は得意先の現掛区分が初期表示されます。 現掛区分を変更すると明細部の伝区も現掛区分に合わせて変更されます。

3) 明細情報(明細部) 項目の説明


入力画面の下部にある明細情報欄の商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。
明細部には、受注内容を商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。
各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。

行No	削除	伝区	商品コード	品名	単位重量	倉庫	原	負数	単位	延べ長さ	受注
		出荷	品名 2	寸法 1 寸法 2 寸法 3	長さ	明細納期	単	重量		受注数量	受注
1	<input type="checkbox"/>	掛受注	S45C100	丸鋼S45C100	339.000000	本社倉庫	P		1 個	5,500	
		未納	通常商品	100.00	0.00	0.00	P	339.00		1.00	
2	<input type="checkbox"/>	掛値引	S45C100	丸鋼S45C100	339.000000	本社倉庫	P		1 個		
		未納	通常商品	100.00	0.00	0.00	P	339.00			
3	<input type="checkbox"/>	掛経費	test lot	テスト	0.000000		P				
		未納		0.00	0.00	0.00	P	0.00		0.00	
4	<input type="checkbox"/>	摘要			0.000000				0	0	
		未納		0.00	0.00	0.00		0.00		0.00	
				租利	率	金額計	合計金額				
				1,342	96%	1,400	1,400				

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」のマニュアル参照してください。

項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番されます。 256行まで入力可能です。 「*」マークの行は、まだ何も入力されていない行です。
削除 (チェック)	入力した行を削除する場合、この削除欄にマウスでチェックを入れます。 (チェックを入れると行全体がグレー背景になります) その状態で伝票登録するとチェックを入れた行が削除されます。 見積伝票からリレーして作成した場合、既に受注リレー済みの明細は削除チェックONの状態で初期表示されます。
切断	鋼種形状寸法別単価マスタを登録している場合に切断単価と材料単価の初期値を選択します。 0・・・(鋼種形状寸法別単価登録の)売上単価 1・・・(鋼種形状寸法別単価登録の)売上単価+切断単価 2・・・(鋼種形状寸法別単価登録の)切断単価
伝区 (伝票区分)	以下の伝区より選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 掛受注 ... 掛で販売する商品の受注を入力する場合に選択します。 (現受注) (得意先マスタで現金売の設定がされている場合は、「現受注」と表示) 品値引 ... 商品ごとの値引きを入力する場合に選択します。 納期、受注原価、倉庫などが入力不可となります。 単価を入力すると自動でマイナス表示となります。 明細合計に対しての値引きを入力する場合は値引用商品を予め登録しておき、それを使用します。 掛経費 ... 諸経費を入力する場合に選択します。 (現経費) 倉庫、受注原価は入力不可となります。 諸経費を入力する場合、「送料」などの商品を商品マスタに登録しておき選択します。 経費で入力された商品は在庫増減されません。 (倉庫選択不可のため) (現金設定の得意先の場合は「現経費」と表示されます) 摘要 ... 摘要行を入力する場合に選択します。 品名と備考のみ入力可となり、品名、品名2に任意の摘要文字を入力できます。 摘要の印字箇所はありません。 リレーで売上した場合、摘要行は売上伝票にコピーされません。 品名欄でF4キー押下にて、摘要マスタに登録した摘要を選択できます。その場合、品名に摘要名が設定されます。

項目名称	説明
出荷	<p>受注明細の出荷状況を表示しています。 受注Noを指定しての売上(リレー売上)を行うと出荷状況が変わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未納」 …… まだ1つも売上されていません。新入力時は全て「未納」です。 ・「一部」 …… 売上されていますが完納にはなっていません。 ※売上時に数量「0」で入力されている場合も「一部」と表示されるの注意。 ・「完納」 …… すべて売上されて完了している状態です。 <p>Point 受注数に満たない売上数で取引を完了する場合は、 出荷区分の値を「一部」から「完納」に手入力に変更することで受注残がなくなります。</p>
商品コード	<p>受注した商品コードを入力します。伝区が「摘要」以外は入力必須です。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択することもできます。</p>
品名	<p>受注した商品名を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要の場合は任意文字列を入力します。</p>
品名2 (型番、規格)	<p>受注する商品名の補足情報を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの品名2が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要の場合は任意文字列を入力します。 品名2のタイトル名称は運用設定にて変更できます。</p>
寸法1～3 長さ	<p>商品コード入力時にマスタに登録している寸法と長さ初期表示され、 表示後訂正可能です。 形状マスタに設定している重量計算区分に応じて単位重量が自動計算されます。</p>
公差	<p>寸法に対する公差を入力することができます。 公差を使用する場合は運用設定の「公差を使用する＝する」に設定してください。</p>
単位重量	<p>形状マスタに設定している重量計算区分に応じて自動計算されます。 表示後訂正も可能です。 重量計算区分が、「単位重量×員数」「単位重量×長さ×員数」の場合は商品マスタの 単位重量が表示されます。</p>

項目名称	説明
倉庫	<p>ヘッダの担当者の事業所に設定した倉庫が初期表示されます。 倉庫を変更する場合は、F4またはスペースキー、もしくは▼を押して表示される倉庫参照画面から倉庫を選択することができます。 F1キーを押すと、在庫引当画面が表示されます。</p>  <p>今回使用員数に入力した数量が有効在庫として押さえられます。 切断入力にて切断処理を入力する場合は、切断にチェックをつけておきます。 在庫引当画面は、受注明細の行ごとに呼び出して、今回使用数を入力してください。</p> <p>Point</p> <p>在庫引当画面の今回使用数の入力必須ではありません。入力をしない場合は、伝票更新と同時に、受注明細に入力した寸法の在庫が有効在庫として押さえられます。</p>
明細納期	<p>納期を行ごとに年月日で入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明細納期には受注日以降の日付しか指定できません。 ・状況が「受注」の場合は必須入力です。 ・有効在庫計算の在庫引き落日は、ヘッダ納期ではなく明細納期が使用されます。
原 (原単価区分)	<p>P、Kのみ入力可能です。 商品マスタの原単価区分の値が初期表示されます。</p>
単 (単価区分)	<p>P、Kのみ入力可能です。 商品マスタの単価区分の値が初期表示されます。</p>
員数	<p>員数を入力します。 在庫管理する場合は員数入力がないと員数の在庫の増減はされません。 員数の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。</p>
重量	<p>重量を入力します。 形状マスタの重量計算区分が「単位重量×長さ×員数」の場合は 単位重量×長さ×員数で自動計算され、 それ以外の場合は単位重量×員数で自動計算されます。 重量で在庫管理する場合は重量入力がないと在庫の増減はされません。 重量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。</p>
単位	<p>商品マスタの単位が初期表示されます。 手入力または単位マスタに登録した内容を選択することが可能です。</p>

項目名称	説明
直送	商品マスタで「在庫管理要否=必要」や「LOT区分=LOT」として登録している商品について、今回の取引については在庫管理やLOTNoを未入力で登録することが可能です。チェックを付けた場合は、伝票更新時の倉庫入力必須のチェックは無視されます。
受注原単価	商品マスタの売上原価計算法が「標準原価」の場合は標準原価単価を「最終仕入」「倉庫別移動平均」「月別総平均」「LOT原価」の場合は在庫単価が初期表示されます。
受注単価	受注単価を入力します。伝区が摘要の場合は入力できません。 新規伝票では得意先マスタの単価種類の設定に応じて、初期表示される単価が決定します。 スペースまたはF4キーで単価計算画面が表示されます。 F3キーで単価履歴画面は表示されます。 詳細は操作マニュアルの「単価について」をご覧ください。
受注原価	明細の原単価区分の値によって自動計算されます。 原単価区分「P」の場合： 原単価 × 員数 原単価区分「K」の場合： 原単価 × 重量 受注金額と受注原価から伝票全体の粗利と粗利率が計算され、計行に表示されます。
受注金額	明細の単価区分の値によって自動計算されます。 単価区分「P」の場合： 受注単価 × 員数 単価区分「K」の場合： 受注単価 × 重量
備考	明細行の備考として任意の文字列を入力できます。
仕入先	同時発注する場合は仕入先を指定します。 商品マスタの仕入先が初期表示されます。 SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。 Point ・仕入先を指定していると、受注同時発注画面が表示され、受注伝票の内容が発注伝票にコピーされます。 ・仕入先の使用区分を「仕入停止」「使用しない」に設定されている仕入先は指定できません。
マーク (チェック)	マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで明細行にマーク(印)をつけて、明細表出力時に絞り込みができます。

項目名称	説明
種別	<p>商品マスタに設定してある商品種別(受注)が初期表示されます。 表示後の変更も可能です。 リストには商品種別マスタで「受注(表示)」に「使用する」を設定している種別が表示されます。 種別ごとにデータ集計したい場合などに利用できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none">・選択変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
税区分	<p>商品マスタに設定している課税区分を商品コード入力時に初期設定します。 手入力に変更可能です。</p>

4) 明細情報(計行) 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
計行では伝票時外税の得意先の外税額のみ手入力できます。
その他入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」マニュアルを参照してください。

項目名称	説明
<u>粗利益率</u>	<p>伝票全体の 粗利益＝受注金額計－受注原価計、率＝(粗利益／受注金額計)×100 で計算され表示されます。 画面には下8桁まで表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗利益及び率には現在明細行に入力中の金額も反映されます。 ・率の小数点以下は四捨五入となります。
金額計	伝票全体の受注金額合計が表示されます。
税額	<p>伝票毎外税の得意先の場合、「外税額」と表示され、伝票全体の消費税額が 計算され表示されます。表示されている消費税額を手入力で修正することも可能です。 画面には下7桁まで表示されます。</p> <p>Point</p> <p>例) 100円の商品を受注し、外税が5円だった伝票の税額を、4円に修正して 登録した場合、受注明細表には以下のように印字されます。</p> <p>変更前… 行1 ○○商品 受注金額 105円 ⇒ 税込出力で105円と表示</p> <p>変更前… 行1 ○○商品 受注金額 105円 行256 消費税 受注金額 -1円 ⇒ 行No256の消費税伝票が自動で作成され、修正差額分を 受注金額にセットして、端数調整する。</p> <p>伝票毎内税の得意先の場合、「内税額」と表示され、伝票全体の消費税額が 計算され表示されます。消費税額の訂正はできません。 請求時外税の得意先の場合、税額の欄は表示されません。</p> <p>伝票毎外税は以下の通りです。 伝票毎外税…明細行毎に消費税を計算(調整税)しますが伝票税は伝票の 合計金額で算出します。</p>
合計金額	金額計+税額 の値が表示されます。

5) 受注伝票更新におけるその他注意事項

修正

- ・修正で伝票を開いた場合、どの項目も修正していないと伝票登録はできません。
- ・修正で伝票を開いた場合、出荷区分が「一部」または「完納」の明細行は品名1, 2と備考欄のみ修正可能です。
- ・商品マスタの予定数量管理要否が「必要」の場合、「売上累計数量+受注数量 \geq 償却予定数量」の時に警告メッセージが表示されます。
警告メッセージが不要の場合は商品マスタの予定数量管理要否を「不要」に変更してください。
- ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、更新できません。

削除

- ・出荷区分が「一部」または「完納」となっている行が1行以上ある受注伝票は削除できません。
先に売上傳票の削除が必要です。(売上を削除すると受注明細は「未納」に戻ります)
- ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、削除できません。

※発注入力の修正の場合

- ・伝票を修正登録した場合、発行済みだった注文書は未発行状態に戻ります。
(即時印刷機能が有効の場合、再度即時印刷できます)

新規、修正、削除 共通

- ・商品マスタの予定数量管理要否が「必要」の場合、「売上累計数量+受注数量 \geq 償却予定数量」の時に警告メッセージが表示されます。
警告メッセージが不要の場合は商品マスタの予定数量管理要否を「不要」に変更してください。

6) 与信チェック

受注入力では、運用設定の設定により伝票更新時に与信チェックが行われます。

- 与信限度額チェックをする … 登録時に得意先マスタに登録された与信限度額をオーバーしていないかチェックを行います(警告、エラーが設定されている場合)
- 営業債権で与信チェックをする … 与信限度額をチェックをするとき、受注残を含めるか含めないかを指定します。

与信チェックされる内訳金額は、画面上部メニューの「その他」-「得意先債権情報の表示」から確認できます。

得意先債権情報			
H1A023	与信限度額	800,000	
有限会社セントラルク			
売掛残高	96,400	買掛残高	10,240
未落受手	50,000	未払残高	2,000
売掛債権	146,400	未落支手	3,240
		買掛債務	15,480
		前受残高	3,000
純売掛債権	127,920		
(売掛債権-買掛債務-前受残高)			
受注残	666,360		
営業債権	794,280		
(純売掛債権+受注残)			
閉じる(Esc)			

得意先債権情報画面

Point

- ・消費税は全て調整税で集計されます。
- ・買掛残高、未落支手、買掛債務は得意先マスタの「相殺仕入先」が設定されている仕入先に対する金額を集計します。
- ・発注入力には与信チェックはありませんが、「その他」-「仕入先債務情報の表示」からほぼおなじ画面が表示されます。
- ・仕入先債務情報では、伝票日付(発注日)時点の、一括税が集計されます。
- ・仕入先債務情報に表示される売掛残高などは、仕入先マスタ相殺得意先に設定されている得意先の金額を集計しています。

項目名称	説明
与信限度額	与信限度日までの与信限度額 $\text{粗利益} = \text{受注金額計} - \text{受注原価計}$ 、 $\text{率} = (\text{粗利益} / \text{受注金額計}) \times 100$ 臨時の与信限度日が設定されている場合、 与信限度日→臨時の与信限度日、与信限度額 → 通常+臨時の与信限度額 臨時の与信限度日が設定されていない場合は 与信限度日→通常の与信限度日、与信限度額 → 通常の与信限度額)
売掛残高	与信限度日までの売掛残高金額 (調整税で集計)
未落受手	伝票日付(受注日)時点で手形期日が未到来の手形入金額 Point 伝票日付(受注日) ≤ 期日 の場合、未落ちと判定されます。
売掛債権	売掛残高+未落受手
買掛残高	与信限度日までの得意先マスタ.相殺仕入先の買掛残高 (調整税で集計)
未払残高	与信限度日までの得意先マスタ.相殺仕入先の未払残高 (調整税で集計)
未落支手	伝票日付時点での、得意先マスタ.相殺仕入先の未落支払手形
買掛債務	買掛残高+未払残高+未落支手
純売掛債権	売掛債権 - 買掛債務 - 前受残高 Point 運用設定が以下の設定の場合、純売掛債権 > 与信限度額になると背景が赤表示されます。 与信限度額チェックをする → 警告、またはエラー 営業債権で与信チェックする → しない
受注残	登録済みの全受注残金額 (調整税で集計) Point 受注日は関係ありません。登録されている全受注伝票が対象です。 税込み金額です。税処理区分が「請求時外税」の場合、調整税(みなし税)が含まれます。
営業債権	純売掛債権 + 受注残金 Point 運用設定が以下の設定の場合、営業債権 > 与信限度額になると背景が赤表示されます。 営業債権で与信チェックする → する